



4年生見学旅行

先日30日(金)は、4年生が、全学年に先駆けて、社会科見学旅行に出かけました。4年生の見学先は、東部環境工場と水の科学館、扇田環境センターでした。東部環境工場は、熊本市にある2つのごみ焼却施設のうちの一つです。ここでは、家庭ごみの約8割を占める燃やすごみや可燃性の大型ごみ、事業所などからの可燃物を焼却処理しています。さらに、ごみを燃料として発電を行っている火力発電所でもあります。ここでは、子供たちはクレーンの大きさやごみの量を実際に見て、驚いていたそうです。また、「こんな工夫をして、処理をしてもらってありがたい。」と口にしていた子供もいたようです。



水の科学館は、熊本市民の共有財産である地下水とその地下水を全て水源とする水道、そして水環境を守る下水道について関心を持ってもらうための体験学習の場として設置されています。人口50万人以上の都市で、水道水の全てが地下水というのは、熊本市以外にありません。子供たちも、水の大切さについて学び、「地下水の大切さや水の凄さを学び、もっと水を大切にしよう、汚さないように気を付けたい。」と感じてくれたようです。

ただ、扇田環境センターについては、大雨の影響で、早めの帰校となり、見学できませんでした。4年生の子供たちには、今回の学びを生かして欲しいと思います。

大雨が続きます(-_-;)

身の危険を感じさせるような、記録的な大雨が続いています。先週末も、今日の動向を探りながら、また帯山中学校校区の校長先生たちとも情報を共有しながら、様々な情報を集めて学校は通常通りとしました。今後も、雨の情報収集は、欠かせません。雨雲レーダーとにらめっこしながら、雨の動向を注視していますが、天気予報通りいかないこともあったり、雨の降り方が強まったりして、この時期の判断はとても難しく感じます。保護者の皆様も、住む場所や職場等によって、危険度も違ってきますので、先ずはご自身やお子様の安全を最大限に確保されてください。

さらに、不快な蒸し暑さが続くため、熱中症対策が欠かせません。大雨や蒸し暑さへの対策をしていきましょう。また、学校からの安心・安全メールは、必ずチェックしておいてください。

雨の中での出来事

朝から、レインコートと傘、そして長靴を履いて楽しそうに登校して来る子供がいました。その手には、ビニル袋が握られていました。私が「そのビニル袋は何？」と尋ねると、「雨で濡れるから靴下や肌着の着替えを入れているんです。」と教えてくれました。その子供の姿から、雨で濡れても着替えることによってストレスから解放される術を学び、たくましさを感じました。